

平成30年度 長野県献血推進協議会 輸血療法部会 活動内容

1 輸血療法部会の開催

(1) 第1回(平成30年9月20日)

- ・部会の活動状況報告
- ・各専門委員会の活動状況報告
- ・「血液製剤使用状況等実態調査」の調査項目検討・承認
- ・「血液製剤使用適正化方策調査研究事業」での実施内容検討

(2) 第2回(平成31年3月2日)

- ・「血液製剤使用状況等実態調査」結果報告
- ・各専門委員会、ASSISTワーキンググループ(後述)の活動状況報告

2 看護師専門委員会の活動

(1) 作業ワーキングの開催

【第1回】平成30年9月8日 【第2回】平成31年2月2日

(なお、インフルエンザ感染拡大防止措置のため、第2回は開催を中止し、メール審議で対応)

- ・「輸血療法マニュアル」をベースとした「実施チェックリスト」「副反応チェックリスト」「バイタルサイン表」の完成に向けた内容検討・意見交換
- ・学会認定・臨床輸血看護師の積極的な取得促進
- ・「サマーセミナー」の運営、今後の方向性の検討

(2) 「輸血療法看護師研修会」の開催(平成30年12月9日) 【参加者数 28名】

- ・「血液製剤の管理について」 長野県赤十字血液センター 大田 智 先生
- ・「輸血副反応とその対応」 長野県赤十字血液センター 村上純子 先生

(3) 「長野県における輸血療法に係る検討会」(平成31年3月2日開催)での活動報告

(4) 随時、Eメールを活用した意見交換・作業ワーキング

3 認定輸血検査技師専門委員会の活動

(1) 作業ワーキングの開催(平成30年9月8日)

- ・「災害時輸血マニュアル」の作成推進方法等の検討
- ・「輸血検査研修会」の開催検討
- ・「輸血関連情報カード」の運用検討・情報交換
- ・「サマーセミナー」の運営、今後の方向性の検討

(2) 「輸血関連情報カード」に関する実態調査の実施

平成30年10月、血液製剤納入実績のある医療機関あて郵送による調査を実施

(3) 「第3回輸血検査研修会(初級編)」の開催(平成31年2月3日)

インフルエンザ感染拡大防止措置のため、開催中止

(4) 「長野県における輸血療法に係る検討会」(平成31年3月2日開催)での活動報告

(5) 随時、Eメールを活用した意見交換・作業ワーキング

4 ASSIST ワーキンググループの活動

県内の輸血療法実施医療機関を対象に、訪問によるアドバイスをサポートを主軸として活動し、もって輸血療法実施医療機関の血液製剤使用適正化を推進することを目的とした「ASSIST ワーキンググループ」を新たに設置。
(平成30年度血液製剤使用適正化方策調査研究事業の一環)

A・・・適正 (Appropriate)
S・・・安全 (Safe)
S・・・信州 (Shinshu)
I・・・訪問 (Interview)
S・・・支援 (Support)
T・・・輸血 (Transfusion)

(1) 作業ワーキングの開催 (平成30年11月6日)

- ・「設置要領」の検討・承認、座長の選出
- ・今後の活動手順、スケジュール等について検討・意見交換

(2) 施設訪問の実施 (3施設)

- 【平成31年2月14日】 相澤病院
- 【平成31年3月12日】 佐久総合病院 佐久医療センター
- 【平成31年3月14日】 県立こども病院

(3) 「長野県における輸血療法に係る検討会」(平成31年3月2日開催)での活動報告

(4) 随時、Eメールを活用した意見交換・作業ワーキング

5 「輸血療法に関わる医療職を対象とした第4回サマーセミナー」の開催

(平成30年9月8日) 【参加者数 118名】

- ・「市中病院における急性期の輸血療法」 伊那中央病院 白鳥徹 先生
- ・「血液製剤の取り扱いと管理」 長野県赤十字血液センター 大田智 先生
- ・「今日から実践、活用できる輸血療法の実際」 看護師専門委員会 村山優子委員
中村竜也委員

6 平成30年度「血液製剤使用適正化方策調査研究事業」

厚生労働省が募集を行った当該事業に応募し採択され、事業を実施

・研究課題名

「長野県輸血療法部会による医療機関評価体制の導入による血液製剤使用の適正化および輸血教育・研究の推進」

<委託契約金額 708,690円>

7 学会発表

【平成30年度長野県看護協会北信支部研修会 (H30.7.23 長野赤十字病院)】

・「安全な輸血療法を見直そう」

長野県赤十字血液センター 大田 智
長野赤十字病院 滝沢由起子、松村明子

【第49回日本看護学会慢性期看護学術集会 (H30.9.27~28 静岡県コンベンションアーツセンターグランシップ)】

・貯血式自己血輸血採血後の遅発性副反応における対策前後の発生率の変化と効果

長野県立総合リハビリテーションセンター 田中千夏、柄澤秀代

- 【第 146 回日本輸血・細胞治療学会関東甲信越支部例会（H30. 9. 29 大宮ソニックシティ）】
・「長野県輸血療法部会の活動」 諏訪赤十字病院 小松政義
- 【第 42 回 日本血液事業学会総会（H30. 10. 2～4 幕張メッセ）】
・「医薬情報担当者が輸血療法委員会へ参加することの効果—中規模医療機関の赤血球製剤廃棄率減少—」 長野県赤十字血液センター 平林盛人
- 【第 147 回日本輸血・細胞治療学会関東甲信越支部例会（H31. 2. 23 北里大学医学部）】
・「輸血療法における地域包括ケアに向けた看護師教育の実践」 信州大学医学部附属病院 堀内香与
- 【第 32 回日本自己血輸血学会学術総会（H31. 3. 8～9 虎ノ門ヒルズフォーラム）】
・看護師の貯血式自己血と回収式自己血輸血の現状と課題」 JA 長野厚生連南長野医療センター篠ノ井総合病院 鶴田まゆみ
山岸睦美、若林景子、春原梨沙、丸山正昭、野村博紀、尾崎稔

8 血液製剤使用状況等実態調査の実施

平成30年10月、血液製剤納入実績のある医療機関あて郵送による調査を実施
「長野県における輸血療法に係る検討会」（平成31年3月2日開催）にて報告

9 その他

- ・「長野県輸血懇話会」（平成31年3月2日開催）への協力
- ・長野県公式ホームページ内に開設している当部会のページにて情報発信